

当病院は

「ハイリスク患者に対する腹腔鏡下胃切除術の 短期成績および長期成績に関する研究」 を行なっています

【研究の意義・目的】

消化管悪性腫瘍（胃がん）に対する腹腔鏡下手術は低侵襲性が期待される一方で、一般的に開腹手術と比較して手術時間が延長することが指摘されています。手術時間が延長すると、結果的に術後の肺水腫、心不全の併発や血栓塞栓症のリスク増加、呼吸不全等が懸念される為、高齢者、心疾患、透析患者、慢性閉塞性肺疾患、塞栓症のリスクの高い、いわゆるハイリスク患者さんに対しては、腹腔鏡下手術を避ける施設も多くあります。

現時点では、ハイリスク患者さんに対する外科手術（開腹/腹腔鏡下/腹腔鏡補助下）が、短期成績、長期成績および併存疾患に及ぼす影響に関しては明確になっておらず、主要な研究成果はほとんどみられません。

当院では、ハイリスク患者さんに対する腹腔鏡下手術の短期・長期成績について検証することを目的として、以下の臨床研究を行っています。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2010年1月から2015年12月までの間に、胃がんに対して腹腔鏡下手術および開腹手術を受けた患者さんを対象としています。

ご提供いただく情報は、背景因子（年齢、性別、基礎疾患の有無など）や調査因子（出血性合併症、梗塞性合併症、術後合併症、手術関連死亡など）で、診療録より収集・集計します。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さんに日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。

なお、この研究の責任者は小倉記念病院 外科 河村祐一郎 です。

【個人情報の管理について】

個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報は削除した上で、厳重に管理を行い、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際にも個人が特定できる情報は一切含まれません。この研究に関わる記録・資料は研究終了後2年間保存した後、適切に破棄いたします。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。
なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 外科 担当者 河村 祐一郎
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）